

1学年だより (NO 34)

令和3年5月26日 (水)

夢の宅配便

小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

「キヨたんの道徳」

昨日の道徳で「ムカデ競争」をみんなで考えました。「ムカデ競争」の話のあら筋は、以下の通りです。

3年 A 組は、運動会の「ムカデ競争」で優勝を狙って、朝、昼休み、放課後と練習を重ねていた。 クラスが男女それぞれ4チームに分かれてバトンをつないでいく。男子 B チームの一宏君は、足が合わなくて思うようにムカデのスピードについていけずにすぐに転倒してしまう。その状況を男子 A チームのリーダーの拓也は、受け止めることができずに失望していく。「このままでは優勝できない。」拓也以外のクラスメイトも「一宏君がいなければなあ、優勝なのに」と不満をはき出し始める。目標の「優勝」が難しくなったので、クラスの雰囲気も停滞してしまった。運動会が迫っているある日、拓也は校庭でクラスの2人の友達が一宏君とムカデの練習をしている光景を見て、動けなくななるくらい心が打たれた。次の日から、拓也も一宏君の特訓練習に参加して、協力した。特訓をする中で、クラスの目標が「優勝」から「全員、転ばないで完走」に変わった。

いよいよ本番、女子 A チームが1位で完走して、男子 A チームは抜かれ2位となり完走、次に女子 B チームが2位のまま完走、そして、アンカーの一宏君がいる男子 B チームにバトンが渡った。大きな声援がグランドに響く。男子 B チームは、一回も転ばずに2位のままゴールになだれ込んだ。クラスのみんなが一斉に男子 B チームのところになだれ込んだ。「全員が転ばないで完走できた。」「頑張ったな。よくやったよ、一宏」拓也は一宏君に声をかけた。

この話で、最後、男子 B チームの一宏君の足が乱れて倒れて3年 A 組が最下位になってゴールしたら3年 A 組の生徒はどう行動したと思いますか？また、？拓也はどのような行動をとったと思いますか？そして、あなたがクラスメイトの一員だったらどのような行動をとりますか、考えを別紙の提出用紙に書いて、提出してください。* 明日の帰りまでに道徳係が集めて、水野先生まで提出してください。

今日のキヨたんの詩 (NO 18)

エネルギーを感じるから 受け止めてごらん 手のひらで 教室に差し込んでくる光を 魔法の光 気持ちを変えてくれる 強い日差しが僕の体をすり抜けて 鮮やかにしてくれる 照らしたもの 究めに 強い日差しがここち良い 自分の嫌な気持ちを 清化してくれる 強い日差しが気持ち良い